

【緑地の樹】

ムクゲ（ハチス）

「雨はれて心すがしくなりにけり 窓より
見ゆる白木槿の花」 齊藤茂吉

梅雨の晴れ間、花広場でもムクゲが咲き始
めた。

一重のムクゲと八重のムクゲの構造は異
なる。一重の方は花の中心から突き出るよ
うに雄シベが筒状になって伸び、その先端か
ら雌シベが突き出ている。

八重の方は退化したように雌雄のシベが
判然としない。

花広場には4、5本、紅底、桃色、八重咲
きと種類の異なるムクゲがあり、バリエー
ションに富んで、一つ一つ飽かずに眺めていら
れる。

樹高は3メートルほどになる落葉低木で、
ハイビスカスの仲間だ。一日花と思われて
いるが、実際には二日ほど咲き続ける。

ムクゲは韓国の人々には「無窮花（ムゲン
ファ）」と呼ばれ、古くから愛されてきた花
だ。

だいぶ前、韓国の旅芸人を主人公にした映
画の中で、村から町へ、町から次の村へ歩い
て旅する主人公の背景にムクゲが咲いてい
た。私の記憶違いもあるかも知れないが、
モノクロに近い映像の中で、そのムクゲだけ
が薄紫色だった。

プロフィール：アオイ科フヨウ属の落葉樹
花広場に数本ある



一重のムクゲは、ハイビスカスの仲間だとよくわかる



八重の花では雌しべ雄しべがはっきりしない

「アーリラン、アーリラン、アーラリオ
オ、アーリラン峠を今越える」その映画のバ
ックグラウンドミュージックだ。ムクゲを
見ると、この映画のワンシーンが浮かび、少
しばかり心がざわつく。ムクゲの花一つに
も、調べれば何と沢山の物語や歴史的事実が
あることか。

花と向き合うには、こちらもそれなりの覚
悟がいるのだと思い知る。

(かつた)